

## デマンドタクシー「のれんす処」

### 新潟・胎内市 視察研修 常山知子

10月10日、11日の二日間、新潟県胎内市（たいないし）への視察研修に参加しました。

参加者は、皆野町長、議員全員、総務課長、議会事務局長です。

視察内容は「公共交通（デマンドタクシー）」と「リゾート観光事業」でした。

#### 《胎内市は》

2005年、北蒲原郡中条町と黒川村の合併により誕生。

人口は約3万2千人、面積は皆野町の約4倍。高齢者率は27・3%。「米粉（こめこ）」発祥の地。

新潟県の北部に位置し、新発田市、村上市、関川村、山形県小国町に隣接しています。

胎内市は、中心市街地の空洞化などで路線バスの利用者が年々減つてしまうため、補助金（年額5500万円）の増額等のなかで、公共交通の見直しを行いました。

2009年4月からデマンドタクシー「のれんす処」の実証運行を開始。福祉バスというより、商工観光活性化を担う交通手段として活躍してもらうため、商工会に運営を委託しています。

安い料金（300円）で市内全域をドアツードア（玄関から玄関）で運行するデマンドタクシーを導入することにより、高齢者の足の確保、交通空白地域の解消、中心市街地の活性化等を目標としているそうです。

#### 「のれんす処」の見学

広い地域を三つのエリアに分けて、エリアごとに2台のジャンボタクシーが走っています。

係の人に案内していただき、予約センター「のれんす処」の見学をしました。

「のれんす処」は中心市街地にあり、空き店舗を改修して利用。他のエリアに行く場合の乗り継ぎ所になっています。

お茶なども飲めたり、赤ちゃんを連れた人がおむつの交換場所としても利用できるようなっています。

身延町、胎内市の公共交通（デマンドタクシー）の視察を通じて、いよいよ皆野町の公共交通について、一歩前にすすめる取り組みをしていく必要を強く感じました。

「のれんす」とは？

胎内市の方言で「どうぞ乗ってください」という意味です。

デマンド＝需要。要求。請求。

デマンドタクシー＝

利用者の要求に対応して運行する形態の乗合タクシー。



放射能測定器



### 我が家のジャガイモ

#### 放射能測定 微量

皆野地域でもお茶、しいたけなどにセシウムが検出されていたので、自分でつくった作物（自分が食べ、子供や知り合いに食べてもらう）が、安心か一度測定したいと思っていた。ましてや薪ストーブの灰を使っているので。

「放射能からみんなの健康といのちをまもる秩父の会」が秩父市黒谷に測定所を設置したので、測定に行ってきました。

ジャガイモ1kgで、セシウムは4・11ベクレルでした。

時間は30分、料金は千円です。安全を確認してみてください。

（T・T記）